

《企業紹介》

同社はベトナムの商業銀行大手の一角を占める総合金融サービス企業である。人民解放軍傘下の企業に対する金融サービス提供を目的に 1994 年に設立された金融機関が前身である。この経緯から国防省関連企業との関係が深く、筆頭株主は国防省傘下の Viettel（ベトテル、ベトナム最大の移動体通信事業者、保有比率は 2025 年 9 月 11 日時点で 19.0%）グループとなっている。Viettel グループとは資本関係を通してフィンテックなどの新しい金融サービスでの協業を積極的に進める方針である。

同社はグループ内に 6 つの専門的な金融サービス子会社を持ち、グループの総合金融サービスの競争力強化を図っている。MB アセットマネジメントは債権管理業務を通してグループ債権の厳格な管理に貢献し、不良債権比率の抑制に貢献している。このほか MB キャピタルマネジメントは資産運用業務を、MB 証券は証券業を、MIC は損害保険事業を、MB エイジライフは生命保険業を、MB 新生ファイナンスは消費者金融業を、それぞれの市場で存在感を示しながら総合金融サービスを展開している。

《2026 年 4—6 月期業績》

2026 年 4—6 月期の営業収入は前年同期比 18.5%増の 20.4 兆 VND（ベトナムドン）だった。金利収入は同 36.5%増の 16.8 兆 VND だった。貸出債権残高が同 38.5%増の 1,227 兆 VND だったので、ほぼ同等の伸びを確保している。貸出金利の積極的な引き上げによって預貸利ザヤの悪化にブレーキがかかりつつあるとみられる。手数料等収入はコストの増加によって同 5.7%減の 1.8 兆 VND と停滞した。その他収入は、投資有価証券売却損益や外国為替売買損益が大幅に減少したため、同 41.3%減の 1.7 兆 VND となった。

営業費用が同 13.5%増の 5.6 兆 VND と営業収入の伸びを下回る増加となったこと、貸倒引当金が同 11.3%減の 4.2 兆 VND に減少したことにより、税前利益は同 40.7%増の 10.5 兆 VND、純利益は同 40.0%増の 8.2 兆 VND と、大幅な増益を達成した。預貸利ザヤの悪化にブレーキがかかりつつある点は評価できるが、預金残高は同 23.0%増の 963.8 兆 VND と、債権残高の増加ペースを下回る増加となっており、資金調達をコストの高い短期金融市場に依存している状況には留意する必要があるだろう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	17,245.7	22.1	15,596.7	22.8	17,821.2	7.6	17,430.2	13.8	20,434.3	18.5
(うち金利収入)	12,372.1	17.5	12,990.5	24.7	14,555.3	30.6	14,913.1	27.5	16,893.7	36.5
(うち手数料等収入)	1,915.5	41.4	1,326.6	49.4	2,101.2	78.0	1,708.7	38.3	1,805.7	-5.7
(その他収入)	2,958.0	31.8	1,279.6	-8.5	1,164.7	-72.5	808.3	-66.3	1,735.0	-41.3
営業費用	4,956.5	10.4	4,545.3	21.0	6,229.5	18.7	4,347.0	10.1	5,627.4	13.5
貸倒引当金	4,786.2	138.6	3,801.5	131.8	2,169.4	-32.7	3,454.8	15.7	4,247.1	-11.3
税前利益	7,503.0	-1.7	7,249.9	-0.8	11,129.1	37.5	9,628.4	14.8	10,559.9	40.7
純利益	5,877.6	-2.5	5,571.0	-3.8	8,762.6	39.4	7,516.5	14.4	8,229.1	40.0
貸出債権(期末残高)	879,888.5	32.8	931,498.6	32.7	1,084,019.4	39.6	1,120,562.5	40.5	1,227,554.5	39.5
貸倒比率(%、%ポイント)	2.2	1.0	1.6	0.7	0.8	-0.9	1.2	-0.3	1.4	-0.8

注1 収入は全て費用を差し引いた純額で表示している

注2 営業収入は公表されている金利収支、外国為替収支、証券関連収支、その他収支の純額合計

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

軍隊銀行(MBB)



《株価の動向》

同社の株価と VN 指数を 2025 年末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価パフォーマンスは 2026 年の年初から VN 指数をアウトパフォームしていたが、4 月中旬以降アンダーパフォームに転じている。8 月 4 日終値時点で VN 指数が 2025 年末比 10.4% の下落となっているのに対し、同社の株価は 3.6% の下落となっている。また、8 月 4 日終値 24,400VND で計算した時価総額は 196.5 兆 VND であり、2025 年 12 月期実績の純利益 26.7 兆 VND に対して 7.3 倍となっている。

2026 年 4－6 月期の決算は、1－3 月期の決算から一転して貸出債権残高の増加と預貸利ザヤの改善が両輪となって利益水準を押し上げるという期待を高める内容だった。今後も預貸利ザヤの改善傾向が続くかどうかは株価パフォーマンスの鍵を握るだろう。7－9 月期以降の決算はもちろん、政府や中央銀行のベトナム資本市場に対する政策やその効果の状況を注意深く見守る必要があるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。